

就活生の企業選びとSDGsに関する調査

2022年8月調査

2015年に「持続可能な開発目標（SDGs）」が国連で採択されたのをきっかけに、様々な企業において、事業活動を通じた目標達成への取り組みが進められている。ディスコでは、2023年春に卒業予定の大学生・大学院生を対象に、SDGsの認知度、就職活動中のSDGsとの接点や、就職志望度との関連のほか、入社予定企業で取り組みたいことなどを調査し、分析を行った。

目次

- [1] SDGs（持続可能な開発目標）の認知度
- [2] SDGsを知った時期ときっかけ
- [3] 就職活動中のSDGsとの接点
- [4] SDGsへの取り組み度合いと就職志望度の関連
- [5] SDGs17の目標のうち関心の高いもの／入社予定企業が取り組めると思うもの
 - [Voice1] 自身の関心が高いSDGs
 - [Voice2] 仕事を通じて取り組みたいSDGs
 - [Voice3] 良いと思った企業の取り組み

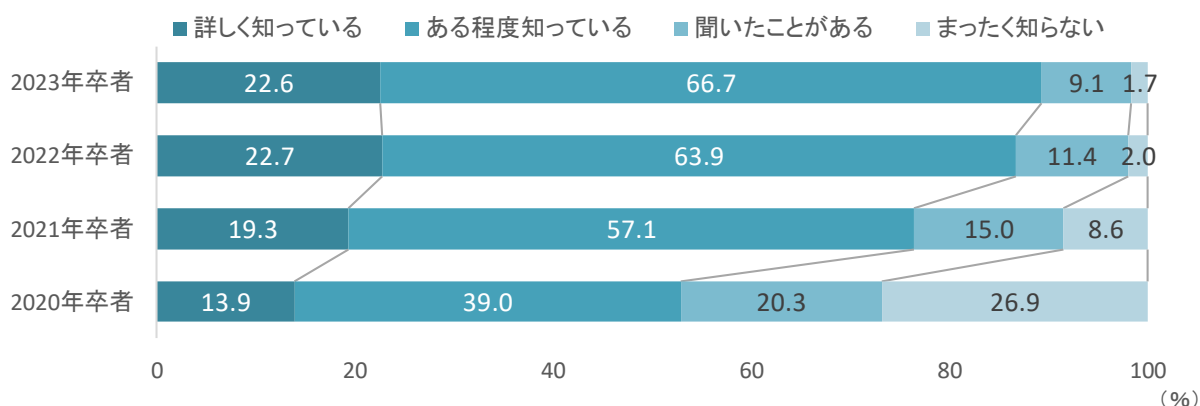
調査概要

調査対象：2023年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
 回答人数：1024人
 調査時期：2022年8月1日～8月9日
 調査方法：インターネット調査法
 サンプルング：キャリアス就活2023 学生モニター

[1] SDGs（持続可能な開発目標）の認知度

「SDGs（持続可能な開発目標）」の認知度を尋ねた。「詳しく知っている」学生は22.6%で、「ある程度知っている」（66.7%）と合わせると約9割に上る（計89.3%）。2020年卒者（計52.9%）と比較すると36.4ポイント増加しており、この3年で認知度が大きく上昇したことがわかる。

SDGs(持続可能な開発目標)の認知度



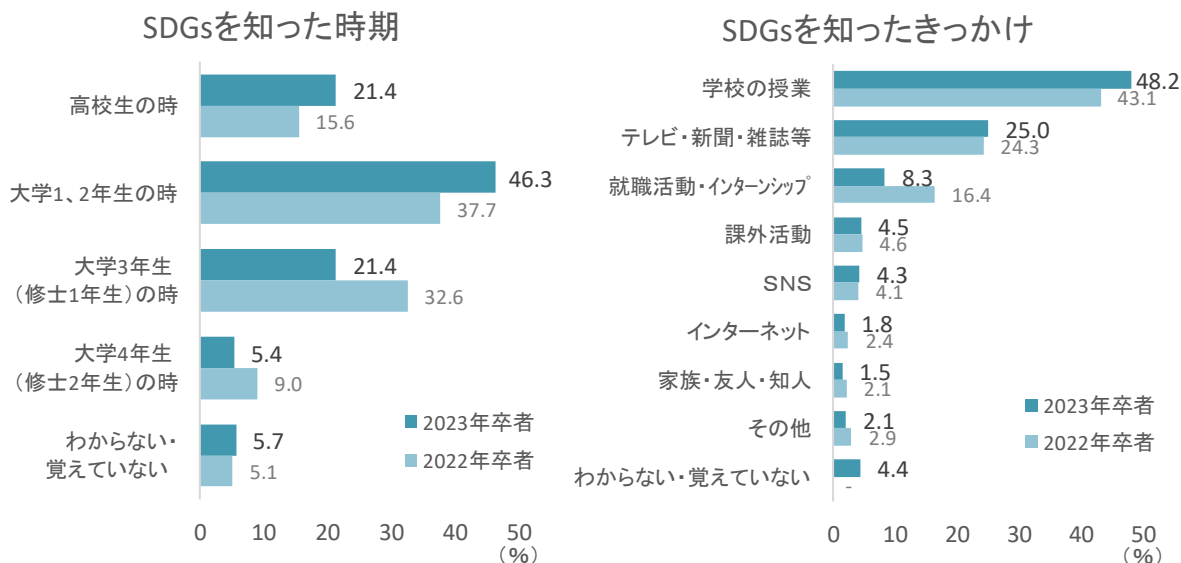
持続可能な開発目標（SDGs）とは

2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、17の目標と169のターゲットからなる2016年から2030年までの国際目標

[2] SDGs を知った時期ときっかけ

SDGs を知った時期ときっかけについて尋ねた。知った時期は、「大学 1、2 年生の時」が 4 割強で最も多い (46.3%)。次いで「高校生の時」「大学 3 年生 (修士 1 年生) の時」がともに 21.4% での順。前年同期調査と比較すると、「高校生の時」「大学 1、2 年生の時」が増加。認知するタイミングが早まったことがわかる。

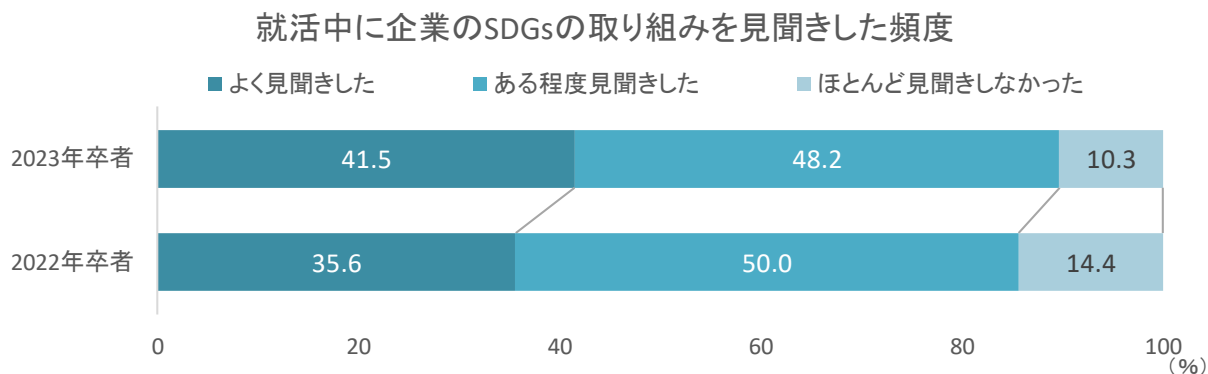
SDGs を知ったきっかけは、「学校の授業」が最も多く、半数近くに上る (48.2%)。「テレビ・新聞・雑誌等」(25.0%)、「就職活動・インターンシップ」(8.3%) が続く。



[3] 就職活動中の SDGs との接点

就職活動中に企業の SDGs の取り組みに関して「よく見聞きした」という学生は 4 割超 (41.5%)。「ある程度見聞きした」(48.2%) を合わせて約 9 割が見聞きしたと回答した (計 89.7%)。

前年同期調査と比べ「よく見聞きした」の割合が上昇 (5.9 ポイント増)。採用活動の中で、自社の取り組みをアピールする企業が増加していることがうかがえる。

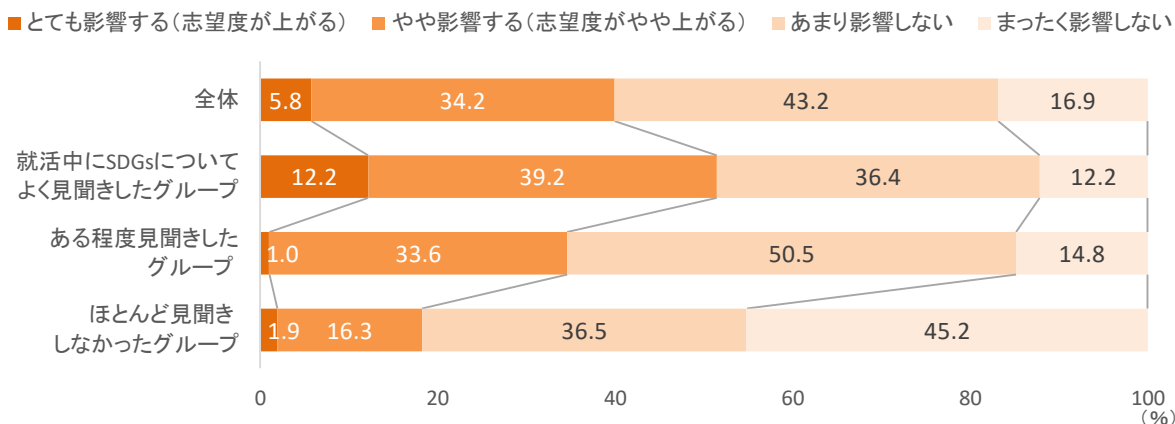


[4] SDGs への取り組み度合いと就職志望度の関連

企業のSDGsへの取り組みと就職志望度の関連について尋ねた。SDGsに積極的に取り組んでいることが、その企業への志望度に「影響する」と回答した学生は、「とても影響する(志望度が上がる)」「やや影響する」を合わせて4割(計40.0%)。

これを先に見た就活中のSDGsへの接触度合い別に比較すると、就活中にSDGsについてよく見聞きしたグループでは、「影響する」の合計は半数を超える(計51.4%)。

企業のSDGsへの積極的な取り組みによる志望度への影響

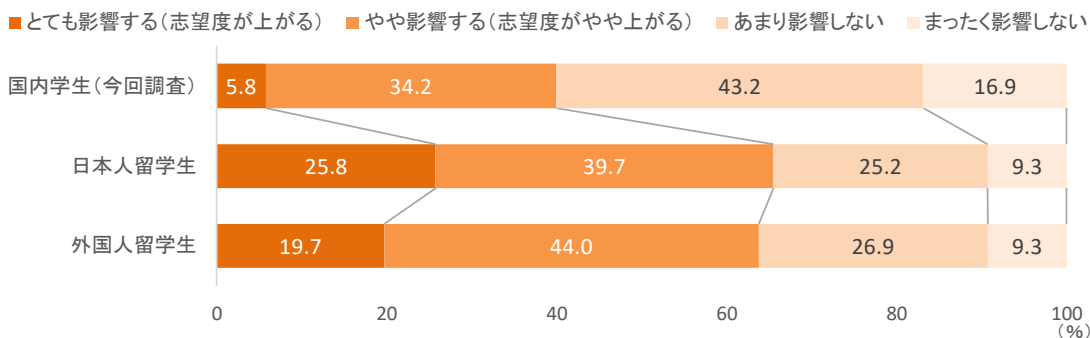


【参考】留学生との比較

今回の調査で尋ねた「企業のSDGsへの積極的な取り組みによる志望度への影響」について、日本人留学生と外国人留学生にも尋ね、三者を比較した。

SDGsへの取り組み状況がその企業への就職志望度に「とても影響する」という回答が、日本人留学生では25.8%、外国人留学生は約2割(19.7%)に上る。どちらも国内学生(5.8%)を大きく上回り、留学生の関心の高さが表れている。

企業のSDGsへの積極的な取り組みによる志望度への影響
＜留学生との比較＞



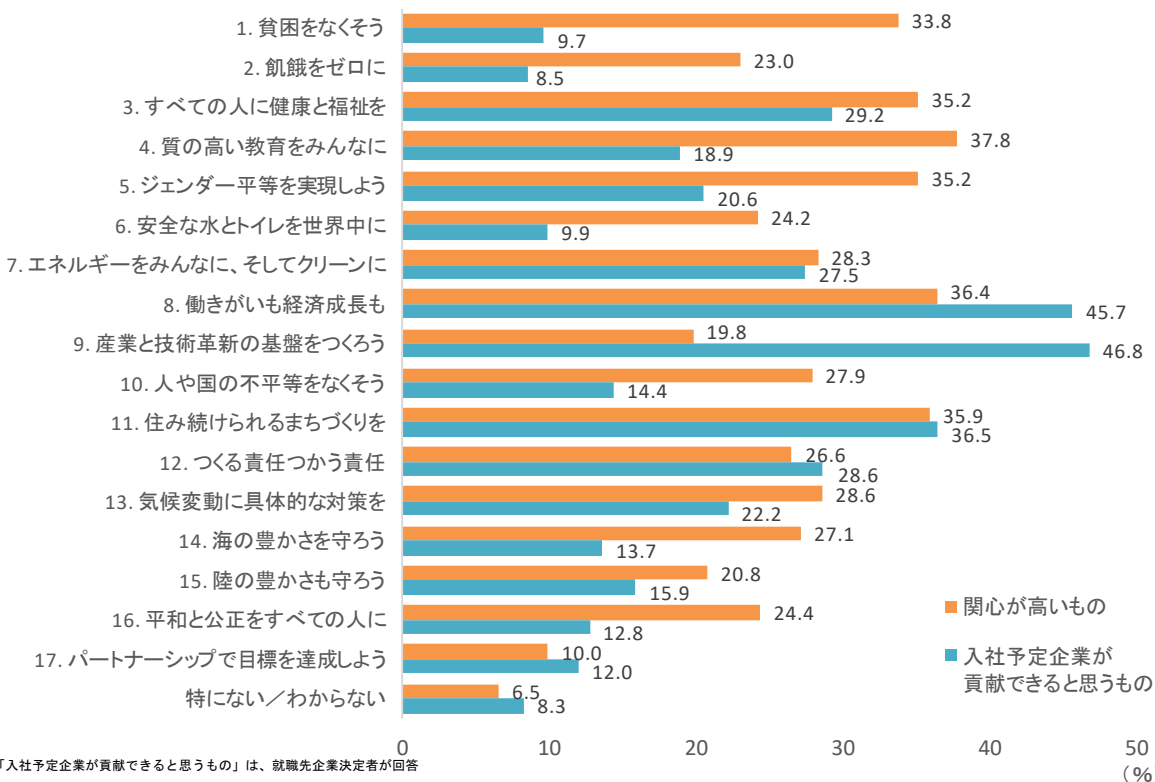
※日本人留学生の調査結果は「海外留学生の就職活動に関する調査」(2022年2~3月調査)より

※外国人留学生の調査結果は「外国人留学生の就職活動に関する調査」(2022年7月調査)より

[5] SDGs17 の目標のうち関心の高いもの／入社予定企業が取り組めると思うもの

SDGs の 17 の目標のうち、自身の関心が高いものは、「質の高い教育をみんなに」が最多 (37.8%)。多くの項目で 3 割を超え、関心の広さがうかがえる。一方、入社予定企業が貢献できると思うものは、「産業と技術革新の基盤をつくろう」「働きがいも経済成長も」が 4 割台半ばで圧倒的に多い。入社予定企業の業界別で差がみられ、事業内容と関連した項目が多く選ばれている。

SDGsの17の目標のうち
自身の関心が高いもの／入社予定企業が貢献できると思うもの



入社予定企業が貢献できると思うもの (入社予定企業の業界別)

製造 (%)	金融 (%)	流通・商社 (%)			
産業と技術革新の基盤をつくろう	48.5	働きがいも経済成長も	54.2	働きがいも経済成長も	50.9
つくる責任 つかう責任	43.0	すべての人に健康と福祉を	38.6	すべての人に健康と福祉を	39.6
働きがいも経済成長も	38.2	産業と技術革新の基盤をつくろう	36.1	住み続けられるまちづくりを	37.7
住み続けられるまちづくりを	38.2	住み続けられるまちづくりを	28.9	ジェンダー平等を実現しよう	32.1
エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	37.5	ジェンダー平等を実現しよう	26.5	産業と技術革新の基盤をつくろう	30.2
すべての人に健康と福祉を	30.0	質の高い教育をみんなに	24.1	つくる責任 つかう責任	28.3
気候変動に具体的な対策を	27.0	貧困をなくそう	21.7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	24.5
陸の豊かさを守ろう	19.5	人や国の不平等をなくそう	19.3	気候変動に具体的な対策を	17.0
ジェンダー平等を実現しよう	16.0	気候変動に具体的な対策を	18.1	安全な水とトイレを世界中に	17.0
海の豊かさを守ろう	15.7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	16.9	飢餓をゼロに	17.0

IT (%)	サービス他 (%)		
産業と技術革新の基盤をつくろう	58.2	働きがいも経済成長も	49.5
働きがいも経済成長も	47.9	産業と技術革新の基盤をつくろう	43.6
質の高い教育をみんなに	31.5	住み続けられるまちづくりを	41.1
住み続けられるまちづくりを	30.9	すべての人に健康と福祉を	27.2
すべての人に健康と福祉を	22.4	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	25.7
つくる責任 つかう責任	20.0	ジェンダー平等を実現しよう	25.7
エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	17.6	気候変動に具体的な対策を	24.8
特になし／わからない	17.0	質の高い教育をみんなに	22.3
人や国の不平等をなくそう	16.4	つくる責任 つかう責任	19.8
ジェンダー平等を実現しよう	15.8	陸の豊かさを守ろう	19.3



[Voice 1] 自身の関心が高い SDGs

- 気候変動や食糧問題は、特に喫緊の課題であると思う。 <文系男子>
- 貧困をなくすためには、技術革新と経済成長によってエネルギーを安定的に賄えることが最重要であると考えます。 <理系男子>
- 質の良い教育がなければ、良い社会や国を作ることにはできないと思っているので、1 番始めに取り組みべき課題だと思う。 <理系女子>
- ゼミでジェンダー史を研究しているため、「ジェンダー平等」には特に興味がある。 <文系男子>
- 個人的に食品ロスの活動をおこなっている。 <文系女子>
- ヨット部に所属し、海で活動するので、海のプラスチックごみの問題などをよく見かける。 <理系男子>
- 二酸化炭素を減らすことを目的とした研究をしているので、グリーンエネルギーに関心がある。 <理系女子>
- 今生きている人だけでなく、これから生まれてくる次世代の子供たちも安心して暮らせる社会への意識がある項目には特に関心があります。 <文系男子>
- SDGs は一つだけ選ばれるものではなく、すべてに注目してすべて達成する必要があるので、すべての選択肢を選びました。 <理系男子>

[Voice 2] 仕事を通じて取り組みたい SDGs

- 農業から、飢餓に困る地域の手助けをしたい。 <機械メーカー内定/理系男子>
- 新しい薬を創る仕事を通して、世界中の人々の健康に貢献したい。 <製薬会社内定/理系女子>
- 教育の平等にむけて ICT 教育を活用したコンテンツ作りを行いたい。具体的には病院に入院している子供のための教育基盤を、通信の面から作りたい。 <通信会社内定/文系女子>
- CO2 フリー商品の販売戦略にかかわりたいです。自力では低炭素社会への貢献が難しい中小企業や組織の支援に繋がれば良いと思います。 <エネルギー会社内定/文系女子>
- 人財不足を解消する AI を活用した自動施工。 <建設・不動産内定/理系男子>
- 日本経済は 99.7%の中小企業によって支えられているため、その中でも成長著しい中小企業支援を通じて、日本経済の発展に寄与したい。 <銀行内定/文系男子>
- 地元でまちづくりができるチャンスが多く存在するため、大型開発や再開発、先進事例の実証実験や社会実装を通じて地域の発展に貢献したい。 <鉄道会社内定/文系男子>
- デジタル化や DX 化をサポートすることで、より付加価値の高い仕事に従事できる環境づくりに寄与したい。 <コンサルティング会社内定/文系女子>
- 少子高齢化社会に注目しているため、子育てがしやすく高齢者の方も住み続けることができる、バリアフリーや IoT を駆使した街づくりを行いたい。 <建設・不動産内定/文系男子>
- 不具合が発生しないシステム開発を行うことで、つくる責任を果たすこと。 <情報処理内定/文系男子>





[Voice 3] 良いと思った企業の取り組み

就活中に知ったSDGsの取り組みについて、良いと思った企業とその理由・具体的な取り組みを尋ねた。そのうち、上位企業のコメントの一部を抜粋して紹介する。

企業名	良いと思ったSDGsの取り組み	回答者属性
サントリーホールディングス	「人と自然と響きあう」というミッションを掲げ、自然と共生していくことを目指している点。	理系女子
サントリーホールディングス	CO2排出を減らすためトラック輸送を削減したこと。	文系男子
サントリーホールディングス	石油由来原料の使用量が低いペットボトルに魅力を感じた。	文系男子
トヨタ自動車	環境問題やダイバーシティなど、多様な面で社会に貢献しようとしている姿に非常に魅力を感じた。	文系男子
トヨタ自動車	カーボンニュートラル実現のためにBEVだけでなく水素など様々な選択肢を用意していること。	理系男子
トヨタ自動車	細かいところの省エネまで考慮している点。	理系男子
ニトリ	製品の素材の選定や配送ルートなどの最適化によってCO2排出量削減に取り組んでいる点。	文系男子
ニトリ	ユーザーの利便性を考えつつ、リサイクルしやすい素材で家具を作っている。それがしばしば新たなアイデアとして生み出されるため、どんどん環境にもよいモノが生まれている。	文系男子
ニトリ	ペットボトルをカーペットに再利用し販売していること。	文系女子
日立製作所	2030年までに執行役・会社役員の比率を女性30%、外国人30%にすることを目標としている点。	文系女子
日立製作所	水環境ソリューションにおいて下水道事業が抱える課題を「IoT」「AI」「ビッグデータ」で解決する、という取り組みが良いと思いました。理由は、先進国と発展途上国の両者に寄与する取り組みであると感じたからです。	理系女子
日立製作所	ホームページに、それぞれこの取り組みはSDGsの項目の何を満たしているのか記載されていて、とてもわかりやすく良いと思いました。	理系女子
イオングループ	食料ボックスの設置で食料廃棄問題の解決に貢献していること。	文系女子
イオングループ	リサイクルや植樹活動など、グループ全体で取り組んでおり、実際にどの企業でも事業に反映されている点が良いと思った。また、労働者の権利も重視しており、働きやすさをグループ全体で意識する姿勢を感じた。	文系女子
中部電力	石炭火力発電にアンモニアや水素を混ぜ、カーボンニュートラルを目指そうとしていたから。原子力発電所の稼働に向けて積極的に取り組んでいたから。	文系男子
中部電力	ゼロエミッションを目標に、脱炭素社会の実現に向けてクリーンな発電に取り組んでいること。	文系男子
住友林業	富士山の近くの土地を使った自然教育をしていて、林業という会社の事業形態と非常にマッチした取り組みをしている点。	文系女子
住友林業	SDGsが流行になる前から木材に着目し、商品に地球にやさしい素材を使用してきたという歴史は企業の好感度が上がるものでした。	文系女子
ダイキン工業	空気を起点に幸せを創出する内容がSDGsとの親和性が高く、印象に残っている。	理系男子
ダイキン工業	自社の特許を無償開放し、他社も利用できるようにすることで、環境負荷低減に取り組んでいる点。	理系女子
大和証券	女性活躍推進に力を入れている点。	文系女子
大和証券	SDGs債を作っているところ。SDGsへの取り組みの継続は難しいが、債権として商品化することで、その持続と認知度に貢献するから。	文系女子

